

由良川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～由良川の治水対策として、河積拡大、堤防強化等を推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、由良川水系においても、中流部で洪水が溜まりやすいことから、堤防整備や河道掘削等の河積拡大対策を含む事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、昭和34年伊勢湾台風と同規模の洪水を安全に流下させ、さらにそれを上回る平成25年台風18号規模の洪水が発生しても、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



凡例

- 大臣管理区間
- ダム
- 河道整備
- 井堰改築、排水機場、調節池 (氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)
- 県境
- 市町村境
- 流域境

灰色着色: 対策完了
赤字: 新規の対策
青字: 進捗した対策



※兵庫県は、総合治水条例 (H24施行) に基づき、河川・下水道対策、流域対策、減災対策の取組を推進中



避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
＜「舞鶴市総合モニタリングシステム」のWEB公開＞
(舞鶴市)

由良川下流圏域
和久川・弘法川・法川等の河道掘削、堤防整備、排水機場整備、海岸保全施設整備等



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削・河道拡幅・堤防整備・護岸整備・付替え河川
- 井堰改築・橋梁改築、調節池
- 海岸保全施設の整備及び保全
- 堤防強化、維持掘削・樹木伐採、河川管理施設等の老朽化対策
- 下水道 (雨水対策)、排水施設 (水路、排水機場) の整備等の内水被害軽減対策
- 校庭、ため池、水田等における雨水貯留浸透機能の確保、開発に伴う調整池の設置・保全
- 利水ダム等7ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 (関係者: 国、京都府、兵庫県、関西電力 (株)、土地改良区、丹波篠山市、丹波市、京丹波町)
- 森林の整備及び保全
- 砂防堰堤、治山ダムの整備 等

■被害対象を減少させるための対策

- 条例等に基づき計画している安全なまちづくり
- 災害危険区域や建物等の耐水機能の確保・維持、立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導など、土地利用や住まい方の工夫 等

■由良川上流圏域
高屋川等の河道掘削、堤防整備等
利水ダム等における事前放流等の実施、体制構築

雨水貯留浸透機能の確保
＜設置補助＞
(南丹市)

地下式雨水貯留槽整備
(京丹波町)

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成と周知
- 水害や土砂災害等ハザードマップの作成と周知、高度化
- 避難所の案内や実績浸水深など、避難行動に資する情報の現地表示
- 住民や関係機関等と連携した避難訓練の実施
- 隣接市の避難所活用や災害リスク情報を活用した避難計画等、柔軟な避難体制の整備・運用・改良
- 要配慮利用施設の避難確保計画作成の促進と、避難訓練実施支援
- 避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
- 水害リスクや水害対策などの啓発活動
- 水防工法等の訓練や土のう等の備蓄資材確保など、水防活動の支援
- タイムラインの作成・運用・改良
- 「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- 排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
- 兵庫県住宅再建共済制度 (フェニックス共済) の加入促進
- 河川に隣接する道路構造物の流出防止対策
- 緊急車両の移動経路の確保 等



竹田川圏域
竹田川、黒井川、鴨庄川等の河道掘削、堤防整備等
利水ダム等における事前放流等の実施、体制構築

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

由良川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～由良川の治水対策として、河積拡大、堤防強化等を推進～

●グリーンインフラの取り組み

『清らかな流れと豊かな緑が織りなす由良川の多様な生物の生息・生育環境の保全・創出』

- 由良川中流域の水域では、オイカワ・アユなどの魚類やモノアラガイ等の水生生物が確認されているほか、サケの産卵活動や産卵床が確認されている。陸域では、水際のツルヨシから自然植生であるエノキムクノキ林など多様な植物が確認されており、豊かな自然環境が存在している。また、水際の豊かな自然環境を利用するコウノトリの飛来が度々確認されており、地元住民の注目を集めている。
- 治水対策における多自然川づくりのために、今後概ね10年間で由良川中流域に湿地・ワンドを新たに創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



●治水対策における多自然川づくり

- ・水際環境の保全・再生
- ・森林・河畔林の保全
- ・瀬淵の保全
- ・上下流の連続性の確保
- ・湿地・ワンドの創出
- ・生物の多様な生育・生息・繁殖環境の保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・船着場の創出
- ・松並木・桜並木の再生

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・中流ワンドを利用した環境学習と地域連携・活性化の取組
- ・流域の企業や学校・地元住民等による清掃活動
- ・小中学生による水生生物調査・環境学習
- ・河川景観の保全



【全域に係る取組】
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

由良川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～由良川の治水対策として、河積拡大、堤防強化等を推進～

- 由良川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】人口・資産が集中する中流部は、盆地形状で勾配が緩く、流れが遅くなり洪水が溜まりやすいことから、堤防整備や河道掘削等を実施し、河積を確保するとともに、宅地嵩上げや輪中堤の水防災対策を進めてきた下流部では、関係機関と連携のもと、内水被害軽減対策等を重点的・集中的に実施し、水災害対策を加速化させる。
【中長期】校庭、ため池、水田等における雨水貯留浸透機能の確保、開発に伴う調整池の設置・保全、森林の整備及び保全等の流域治水対策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて、由良川中下流部は内外水による浸水被害が発生しやすい地形であるという特徴を踏まえ、「利水ダム等7ダムにおける事前放流等の実施、体制構築」、「災害危険区域や建物等の耐水機能の確保・維持、立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導など、土地利用や住まい方の工夫」等の対策を実施する。

区分	主な対策内容	実施主体	工期	
			短期（概ね5年間）	中長期（各機関の整備計画完了）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・河道拡幅・堤防整備・護岸整備 ・付替え河川・堤防強化	京都府・兵庫県 国（福知山河川国道事務所）	緊急治水対策完了（国） 付替え河川完了（京都府）	黒井川（高龍寺橋～小野橋）完了（兵庫県）
	調節池	関係市町・京都府		内水被害軽減対策完了<<大江町河守～公庄地区>> （福知山市・京都府・国）
	下水道（雨水対策）、排水施設（水路、排水機場）の整備等の内水被害軽減対策	関係市町・京都府	綾部雨水ポンプ場の整備完了（綾部市）	内水被害軽減対策完了<<大江町河守～公庄地区>> （福知山市・京都府・国）
	校庭、ため池、水田等における雨水貯留浸透機能の確保、開発に伴う調整池の設置・保全	関係市町 京都府・兵庫県・農林水産省	調整池の整備完了（京丹波町）	
	利水ダム等7ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、京都府、兵庫県、関西電力（株）、土地改良区、丹波篠山市、丹波市、京丹波町）	関係市町 京都府・兵庫県・関西電力（株） 国（福知山河川国道事務所）等	事前放流の運用開始	
	森林の整備及び保全	関係市町・京都府・兵庫県 林野庁・森林整備センター		
	砂防堰堤、治山ダムの整備	京都府・兵庫県		
被害対象を減少させるための対策	災害危険区域や建物等の耐水機能の確保・維持、立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導など、土地利用や住まい方の工夫	関係市町・兵庫県	立地適正化計画における防災指針の作成（綾部市）	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害や土砂災害等ハザードマップの作成と周知、高度化	関係市町 京都府・兵庫県	ハザードマップの全戸配布（綾部市）	
	避難所の案内や実績浸水深など、避難行動に資する情報の現地表示	関係市町・京都府・兵庫県 国（福知山河川国道事務所）	避難スイッチの取り組み（京丹波町）	
	隣接市の避難所活用や災害リスク情報を活用した避難計画等、柔軟な避難体制の整備・運用・改良	関係市町	ハザードマップを活用した地区防災計画作成の推進（宮津市） 防災マップの全戸配布とWEB版防災マップの公開（丹波篠山市）	
	避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実	関係市町・京都府・兵庫県 国（気象庁、福知山河川国道事務所）	「記録的短時間大雨情報の改善」 「警戒レベルに対応した高潮警報に改善」（気象庁）	「大雨特別警報（浸水害）等の基準の改善、キキルの兼統合と嵐の新設」（気象庁） 氾濫危険情報の運用改善 （福知山河川国道事務所、京都地方気象台）
	「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定	環境省	ゲリラ豪雨対策アクションプランの策定完了（環境省）	
	兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）の加入促進	兵庫県		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	京都府・森林整備センター 国（福知山河川国道事務所）		
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	国（福知山河川国道事務所）		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	地元（住民・学校・教育委員会・協議会等） ・関係市町・国（福知山河川国道事務所）		



【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■河川対策 全体事業費 対策内容	約523億円 ※1 堤防整備、河道掘削、河道拡幅 等
■下水道対策 全体事業費 対策内容	約8億円 ※2 雨水ポンプの新設、雨水貯留施設の設置 等
※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載 ※2：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載	

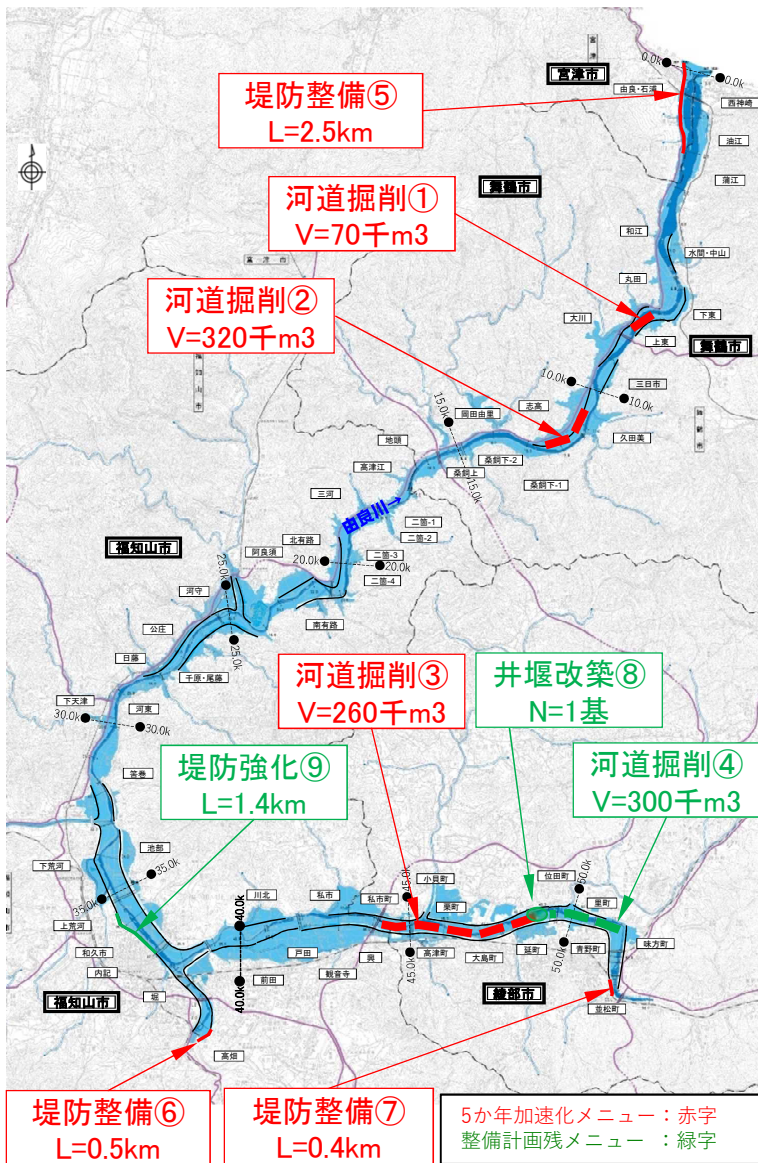
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

由良川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

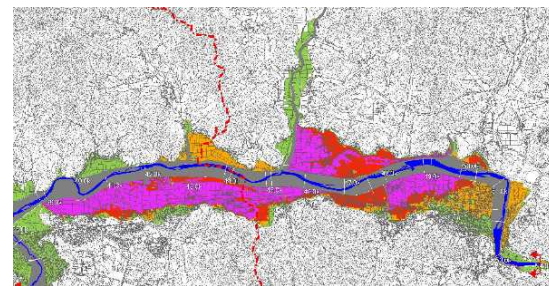
～由良川の治水対策として、河積拡大、築堤等を推進～

- 由良川下流部は、上東地区や志高地区の河道掘削及び由良・石浦地区の堤防整備を短期内に完了させることで、整備済みの輪中堤や宅地嵩上げと併せて、昭和34年伊勢湾台風規模の洪水に対して外水による家屋浸水被害を解消。
- 由良川中流部は、福知山市や綾部市において、由良川中流部緊急治水対策の完了に引き続き、並松地区及び土師川高畑地区の堤防整備並びに栗村井堰までの河道掘削等を短期内に完了させ、浸水被害を大幅に軽減。

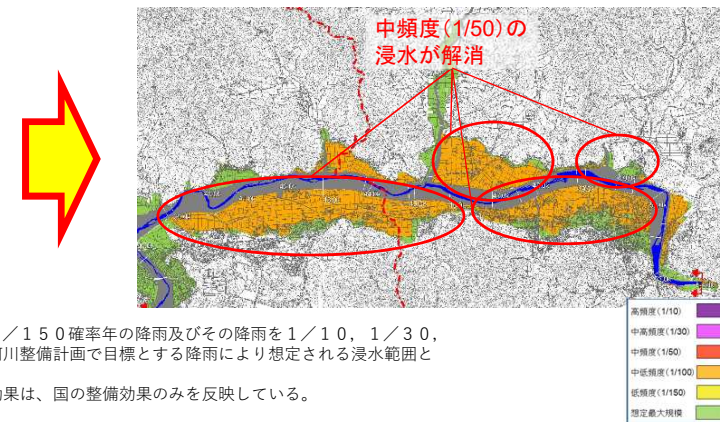
短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約62%→約98%



現状 由良川中流部では堤防整備や河道掘削が整備中のため、溢水、破堤等により家屋浸水が発生する



短期 由良川中流部では連続堤の概成及び河道掘削により浸水被害が大幅に軽減される



※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10, 1/30, 1/50, 1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。

※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

対策内容	区間	工程	
		短期（R2～R7年）	中期（R8～R15年）
河道掘削	①地区（上東）	100%	
	②地区（志高）	100%	
	③地区（興、高津町、小貝町、栗町、大島町）		100%
	④地区（位田町・里町・青野町）		100%
堤防整備	⑤由良・石浦地区	100%	
	⑥高畑地区	100%	
	⑦並松町地区	100%	
井堰改築	⑧地区（栗村井堰）		100%
堤防強化	⑨地区（岩沢堤）		100%

【短期整備完了時の進捗】
 堤防整備
 ①上東地区 河道掘削 100%
 ②志高地区 河道掘削 100%
 ③興・高津町・小貝町・栗町・大島町地区 河道掘削 100%
 堤防整備
 ⑤由良地区 堤防整備 100%
 ⑥並松町地区 堤防整備 100%
 ⑦高畑地区 堤防整備 100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

由良川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～由良川の治水対策として、河積拡大、堤防強化等を推進～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備率（見込）</p>  <p>整備率：98% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>6市町村 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>10施設 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 14箇所 (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 0施設 (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>0市町村 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の提供</p>  <p>洪水浸水想定区域 108河川 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 0団体 (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 166施設 土砂 121施設 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 集計中 (令和4年1月1日時点)</p>
--	--	--	--	---	---	---

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防整備<福知山市前田地区>(福知山河川国道事務所)

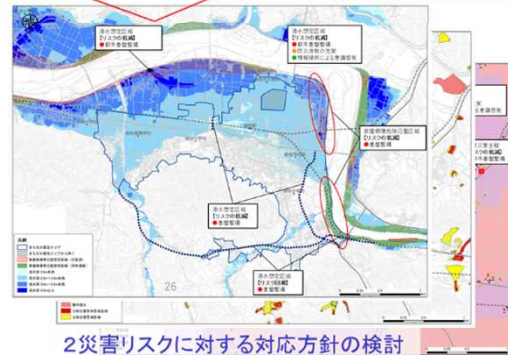
- 平成25年台風18号の被害を踏まえて、平成16年台風23号と平成25年台風18号の洪水の2度浸水した区間を対象に、『由良川緊急治水対策』として、由良川水系河川整備計画(平成25年策定)の整備内容を大幅に前倒し実施してきました。
- 中流部の連続堤整備として、福知山市前田地区は、平成26年度から工事に着手し、令和3年度に築堤盛土が完成しました。



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成(綾部市)

- 居住や都市機能の誘導を図る上で、必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針を作成する。
- 令和3年度末策定完了(公表)予定。



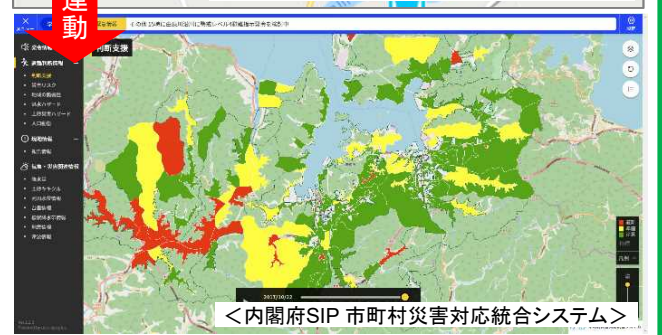
3 対応方針に基づく施策の位置づけ

対応方針	施策	短期(0年)	中期(10年)	長期(20年)
都市基盤整備	流域河川環境改善(豊後地区)の促進	→	→	→
	流域川の樹木性保、河道復元の促進	→	→	→
	流域川越水対策工事の促進	→	→	→
	市道河川管理整備(遊歩道の整備)	→	→	→
	市道河川緑化(都市計画道路沿道緑化)整備(遊歩道の整備)	→	→	→
	緑地帯緑化(緑地の無電柱化の検討(遊歩道の整備)	→	→	→
	流域地帯における道路の無電柱化の検討(遊歩道の整備)	→	→	→
住宅の耐震化	流域地帯緑化対策事業や砂防対策事業などの促進	→	→	→
	流域地帯緑化対策事業や砂防対策事業などの促進	→	→	→

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

舞鶴市総合モニタリング情報配信システム(舞鶴市)

- 舞鶴市では、民間企業や高等教育機関と連携し、「舞鶴市総合モニタリング情報配信システム」を開発。市民が適切なタイミングで避難できるよう、国・府が公開している河川水位と、市管理河川の水位を一つの画面で見ることができるサイトを令和3年7月にWEBで公開した。
- 今後、内閣府SIPによる「市町村災害対応統合システム:自治体の避難勧告等の発令を支援するAIモデル開発」の実証実験を進め、本システムと連動させることにより、適切なタイミングでエリアごとの避難情報発信を目指している。



※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。